

○予備自衛官総員名簿作成資料等の作成について（通達）

昭和 46 年 1 月 18 日
海幕人第 238 号

改正 昭和 57 年 3 月 15 日 海幕人第 935 号 [第 1 次改正]
平成 8 年 6 月 28 日 海幕人第 3011 号 [第 2 次改正]
平成 19 年 1 月 5 日 海幕人第 9 号 [内部部局等の改編に伴う関連通達の 一部変更について（通達）3 項による改正]
平成 20 年 4 月 11 日 海幕人第 2757 号 [第 3 次改正]
令和元年 6 月 21 日 海幕総第 256 号 [工業標準化法の改正に伴う関連の一部変更について（通達）1 項による改正]
令和元年 7 月 2 日 海幕総第 300 号 [防衛省における文書の形式に関する訓令の改正に伴う関連通達の一部変更について（通達）1 項による 改正]

海上幕僚長代理海上幕僚副長から各地方総監あて

標記について、下記により送付されたい。

記

1 予備自衛官総員名簿作成資料

- (1) 別紙様式第 1 による。
- (2) 提出期限 4 月 10 日 提出部数 1 部

2 職域別現員報告作成資料

予備自衛官人事月報の備考欄に、当該者の自衛官退職年月日を明記する。

3 自衛官退職時の階級別在職年数状況報告

- (1) 別紙様式第 2 による。
- (2) 提出期限 4 月 10 日 提出部数 1 部

4 予備自衛官採用時の自衛官退職後の経過年数状況報告

- (1) 別紙様式第 3 による。
- (2) 提出期限 4 月 10 日 提出部数 1 部

5 階級別年齢別現員報告

- (1) 別紙様式第 4 による。
- (2) 提出期限 4 月 10 日 提出部数 1 部

添付書類：別紙様式第 1 「予備自衛官総員名簿作成資料」

別紙様式第 2 「自衛官退職時の階級別在職年数状況報告」

別紙様式第 3 「予備自衛官採用時の自衛官退職後の経過年数状況報告」

別紙様式第 4 「階級別年齢別現員報告」

別紙様式第 1

(地方協力本部)

階 級 〔採用〕 年月	認 識 番 号 氏 名 生 年 月 日	年 齢	最 終 部 隊 (退職年月)	職 域	現 住 所	勤 務 先	摘 要

備 考：(1) 3月末日現在で作成すること。

(2) 用紙は、日本産業規格 A 列 4 番を横に使用すること。

(3) 記載要領は、付紙のとおりとする。

付 紙

記 載 事 項	記 載 要 領
(地方協力本部名)	担当地方協力本部名を記載する。 例：(東京地方協力本部)
階 級 (採 用 年 月)	予備自衛官の現指定階級及び採用年月を記載する。 なお記載の順序は上位の階級から階級の順に、同階級の場合は採用年月の早い順に記載する。 例：1 曹 (45. 7)
認 識 番 号 氏 名 生 年 月 日	ME R 77-24150 例：海野太郎 昭 16.12. 8
年 齢	毎年 3 月 31 日現在の年齢とする。例：29
最 終 部 隊 (退 職 年 月)	自衛官退職時の部隊等及び自衛官の退職年月を記載する。 例：横須賀警備隊 (45. 3)
職 域	現に指定されている職域を次の区分により記載する。 艦艇、航空、経補、その他 例：艦艇
現 在 所	県名を省略して市、区、郡名から記載する。 (電話番号を付記) 例：港区六本木 4-11 (408-2356)
勤 務 先	下記事項を記載する。 1 国家公務員 ① の注記、所属 (省等の区分の明示) 所在地 (市、区、郡名のみ明示。以下同じ。) 電話番号 例：① 運輸省第 2 港湾建設局 (横浜市) (461-6261) 2 地方公務員 ② の注記、所属 (県、市、町、村等の明示) 所在地、電話番号 例：② 水戸市役所土木課 (水戸市) (24-1111) 3 公共企業体職員 ③ の注記、所属、所在地、電話番号 例：③ 国鉄森宮駅保線班 (大阪市) (961-8800) 4 自営、その他

	<p> 自営は(自)の注記、企業名、企業内容 所在地、電話番号 例：(自) 堀内商店（雑貨販売） （日立市）(36-3632) </p>
<p> 摘 要 </p>	<p> 下記事項を記載する。 </p> <ol style="list-style-type: none"> 1 隊友会員は(隊)の注記 2 職務内容 地方議会議員、会社役員、事務管理、現場管理、事務員、工員、船長、船員、販売員、運転手、警備員、コック、バーテン、教育（その他の職務は、記載しない。） <p> 例：(隊) 大井市会議員、(隊) 警備員 </p>

海上幕僚長 殿

作成部隊の長

印

自衛官退職時の階級別在職年数状況報告

予備自衛官

階級 在職期間	尉				計	准尉	曹			計	士長	士		合計	記事
	1尉	2尉	3尉	計			1曹	2曹	3曹			1士	計		
1年以上															
2年以上															
3年以上															
4年以上															
5年以上															
6年以上															
7年以上															
8年以上															
9年以上															
10年以上															
合計															

備考：3月末日現在で作成すること。

海上幕僚長 殿

作成部隊の長

印

予備自衛官採用時の自衛官退職後の経過年数状況報告（ 月末日現在）

予備自衛官

地 本	経過年数		1年未満		1年以上		2年以上		3年以上		4年以上		5年以上		合 計	
	階級		幹	准曹士計	幹	准曹士計	幹	准曹士計	幹	准曹士計	幹	准曹士計	幹	准曹士計		

備考：3月末日現在で作成すること。

階 級		年 齢																		合計	平均 年齢
		39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56		
幹 部	1 尉																				
	2 尉																				
	3 尉																				
	計																				
准 尉																					
曹 士	曹	1 曹																			
		2 曹																			
		3 曹																			
		計																			
	士	士 長																			
		1 士																			
		2 士																			
		計																			
合 計																					
総 計																					

備考：(1) 3月末日現在で作成すること。

(2) 年齢は、当該年度の4月1日現在とする。